

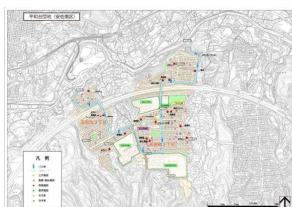
平和台団地共助プラン

国際コミュニティ学部地域行政学科

小原瑞稀 林陽花 荒上咲良 加藤瑠菜



広島市安佐南区平和台団地



- ・約1,000世帯
 - ・人口約2,500人
 - ・65歳以上の人口約40%
 - ・保育園～高校まで教育機関が全て団地内にある。
 - ・団地内に1時間4本バスが走っている
 - ・空き家多数
- 「高齢化が進む暮らしやすい団地」

地域が抱える問題

- 町内会への加入率が減少している
 - ・ 総世帯数は大きく減少はしていない
 - ・ 会員世帯数は年々大幅に減少
 - ・ 加入率は平成22年に90%を切り、令和4年には79%まで低下
- 【原因】町内会の仕事が多く、負担に感じる人が多い

【解決策の提案】 イベントポスターを高校生とコラボし、作成する

〈現状〉

- ・ 町内会理事の負担軽減の取り組みがされているが、広報部のお仕事（イベントポスターや広報誌の作成）が大変

➡ 高校生にイベントポスター作成を依頼

〈効果〉

- ・ 業務の負担を軽減
- ・ 町内会と学生のつながりを強化
- ・ 学生が作ることで若い人の気を引き付けるようなものが作れる
- ・ 学生にも新たな活動の場を得られるというメリット



活動内容

- ① 子ども祭り参加
- ② コラボテンプレの作成・共有
- ③ ミーティング

活動内容

① 子ども祭り参加

- ・ 子どもと一緒に楽しく過ごせた
- ・ 地域のつながりの必要性を強く実感

② ミーティング

- ・ 町内会と高校生とミーティングを行った
- ・ 作成してくれた高校生の感想
- ・ 業務を軽減できたときの感想

活動内容

③ コラボテンプレの作成・共有

- ・ 町内会から高校生に向けた依頼書のテンプレートを作成
- ・ 作成時間や負担の軽減を目的にコラボテンプレを作成





活動の成果

- ① 全体的な成果
- ② 町内会の人の感想
- ③ 高校生の感想
- ④ 広島銀行の人の感想

① 全体的な成果

- ・ 町内会の負担が軽減された
- ・ ポスター作りを通して地域の方々と高校生がコミュニケーションを取ることで、**地域のつながりが深まった**



② 町内会の方の感想

- 良かった点
 - ・ 地域の人も「高校生がこのチラシを作ったんだ」という認識が増えた
 - ・ 偏っていた業務が**軽減**できた
 - ・ これまでは過去のチラシをみて作成していただけだったが、高校生に任せ**新しい視点でチラシ**を作成できた
- 改善点
 - ・ 高校生と直接会って話し合う時間をさらに設けた方が、今まで以上に良いものをつくることができる

③ 安西高校生徒の感想

- 良かった点
 - ・ 地域の方に喜んでもらえて**やりがい**を感じた
 - ・ 地域行事に関わることが無かったがポスター作りを通して**貴重な経験**ができた
 - ・ **これからも挑戦したい**
 - ・ 自分的にも良いものが作れた
 - ・ 神輿に参加することで泣いて喜ぶ地域の方々もいた

③ 安西高校生徒の感想

- 地域との繋がりは感じれたか
 - ・ 秋祭りのポスター、とんどのポスターを作ることで地域の人からの**信頼**を感じた
 - ・ 修正意見を聞きながら協力して作ったことで**達成感**を感じた
- 改善点
 - ・ ポスター修正案が伝わりづらかった
 - ⇒やはり直接会った方が良いと感じた

④ 広島銀行安支店の感想

- 今回の活動が持続的にできたとしたら良い事例となる
→今後の地域活動に**期待**できる
- 今まで以上に**前向きな姿勢**で取り組むことにつながる

ご清聴ありがとうございました